

<報道発表資料>

令和8年8月31日

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

「二条城障壁画 展示収蔵館」

シリーズ寛永行幸 400 年

エントランス特別展示「障壁画を守り、引き継ぐ」

重要文化財（絵画）二条城二の丸御殿障壁画の大半は、徳川三代将軍家光の時代、寛永3年（1626）の後水尾天皇の行幸に向けた大規模改修に伴い、狩野派の絵師たちによって描かれました。元離宮二条城では、「二条城障壁画 展示収蔵館」において、二の丸御殿障壁画（重要文化財）の原画を年に4回公開しています。

この度、寛永行幸 400 年の節目を迎えるにあたって、寛永行幸の際に新たに描かれた二の丸御殿障壁画を未来に継承する取組について、二条城障壁画 展示収蔵館のエントランスにおいて特別展示を行います。

<見所について>

元離宮二条城では、二の丸御殿障壁画を未来へ継承するため、模写事業(昭和 47 年～)、はめ替え事業(平成 4 年～)、修理事業(平成 14 年～)に取り組んでまいりました。あわせて、平成 17 年の展示収蔵館開館以降は、年に 4 回、原画の公開を行っています。

エントランス特別展示では、これら一連の保存、継承の取り組みをパネルでわかりやすく解説するほか、模写や修理で使用する道具や模写見本となる「手板」、修理前後の障壁画の写真などを展示します。普段は目にすることができない障壁画の模写や修理といった舞台裏を通じて、二の丸御殿障壁画を守り伝える歴史と技を深くご理解いただける内容となっています。

また、隣の展示室では、今からちょうど 400 年前に行われた寛永行幸で使用された二の丸御殿の部屋の障壁画の原画を展示しています。秋期は「玉座を飾った障壁画 ～〈大広間〉一の間・二の間～」(会期：9月10日(木)～11月8日(日))を、冬期は「華麗なる宴の場 ～〈黒書院〉一の間・二の間～」(会期：11月19日(木)～令和9年1月17日(日) ※12月29日～31日は休館)を行っています。あわせて、ご覧ください。



修理前



修理後

【事業概要】

- 会 期 令和8年9月10日（木）～令和9年1月17日（日）
ただし、11月9日（月）～11月18日（水）及び12月29日（火）～12月31日（木）は閉館
- 入館時間 午前9時～午後4時30分（閉館は午後4時45分）
※二条城の入城受付は、午後4時まで（12月6日（日）は城内でのイベント開催により、入城受付は正午まで）
- 場 所 元離宮二条城内 二条城障壁画 展示収蔵館
（〒604-8301 京都府京都市中京区二条城町541番地）
アクセス：地下鉄東西線「二条城前駅」又は JR 京都駅から市バス 9、50号系統「二条城前」下車すぐ
- 入 館 料 100円（未就学児無料）※エントランス特別展示と障壁画原画展で共通
※別途入城料が必要。
※市内に在住・在学の小中学生、市内在住の70歳以上の方（敬老乗車証等で住所、年齢を確認できる方）、各種障害者手帳等をお持ちの方、二条城の入城料、二の丸御殿観覧料及び本丸御殿観覧料がいずれも免除される方の入館料は、不要です。
- 公開点数 パネル9点、模写や修理の道具など約20点
- 主 催 京都市文化市民局元離宮二条城事務所

<お問合せ先>

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

電話：075-841-0096